

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	心理学実験		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	小川 正子	実務経験と その関連資格	公認心理師			
《授業科目における学習内容》						
様々な心理実験の計画を立案し、実験から得られたデータをエクセル入力し、記述統計について学ぶ。また、各種実験や心理検査から心のありようを理解し、援助者として必要な構えを学ぶ。レポートの書き方についても学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
成績評価の方法は、レポートとプレゼンテーション資料とする。成績評価基準は、レポート70点、プレゼンテーション資料30点の計100点とし、学習状況と出席状況を総合して、試験素点の70%、出席評価点20%、平常評価点10%の100点満点とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキストは使用しない。随時、資料を配布する。 参考図書「実験・実習で学ぶ心理学の基礎」(金子書房)、「心理学実習基礎編」(培風館)、「心理学実験法・レポートの書き方」(ナカニシヤ出版)、「心理学検定基本キーワード集」(心理学検定局編)						
《授業外における学習方法》						
授業内で行った実験に関連する原著論文(日本語)を探して読むこと。						
《履修に当たっての留意点》						
実験を通して、心的機能の理解に努めること。レポートは体験してすぐに作成することが大切である。可能であれば、Microsoft OfficeがインストールされたPCやタブレットを持参すること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	独立変数と従属変数の違いを理解する。		PPT 配布資料	
		各コマにおける授業予定	「心理学実験に関する基礎知識」実験とはどのようなものか、独立変数と従属変数、レポートの様式について概説する。			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	鏡映描写の実験条件を理解する。		鏡映描写装置 記録用紙	独立変数と従属変数について復習する。
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験①」鏡映描写実験により、技能学習習得のプロセスと学習の転移、両側性転移について体験的に学ぶ。実験条件の統制について理解する。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	鏡映描写実験の手続きを理解する。		鏡映描写装置 記録用紙	実験手続きについて熟読する。
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験②」			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	エクセルへのデータ入力の仕方と数式の使い方を理解する。		鏡映描写装置 記録用紙	結果の整理の仕方を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験③」			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	エクセルでグラフを作成できる。		鏡映描写装置 記録用紙	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験④」実験結果から、技能学習のプロセスと転移について考察する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	レポートのフォーマット(書き方)を理解する。	鏡映描写装置 記録用紙	レポートの書き方について熟読する。
		各コマにおける授業予定	「鏡映描写実験⑤」鏡映描写実験のレポートを作成する。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	精神物理的測定法の違いを理解する。	触二点閾触覚計 検査記録用紙 配布資料	心理学検定対策テキストから、精神物理的測定法、体性感覚の項を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「触二点閾①」		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きと、実験を統制する意味について理解する。	触二点閾触覚計 検査記録用紙 配布資料	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「触二点閾②」		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きを理解し、正しく実験を行うことができる。	触二点閾触覚計 検査記録用紙 配布資料	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「触二点閾③」結果について考察する。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	体性感覚と特徴を説明できる。	触二点閾触覚計 検査記録用紙 配布資料	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「触二点閾④」実験結果をまとめ、考察する。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験条件を考えることができる。	PPT 配布資料 錯視図形 記録用紙	心理学検定対策テキスト「錯視」に関連する項目を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「錯視①」精神物理的測定法、主観的等価点などの心理学の基本的な概念を学ぶ。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きを理解し、教示を含め正しく実験ができる。	PPT 配布資料 錯視図形 記録用紙	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「錯視②」錯視図形を用いて錯視量を測定する。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きを理解することができる。	PPT 配布資料 錯視図形 記録用紙	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「錯視③」錯視図形を用いて錯視量を測定する。		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	エクセルシートへの入力、グラフ作成ができる。	PPT 配布資料 錯視図形 記録用紙	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「錯視④」エクセルシートにデータを入力し集計、レポートを作成する。		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験手続きを理解する。	PC PPT 無意味綴り 配布資料 記録用紙	心理学検定対策テキストから「記憶」に関連する項目を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「記憶①」無意味綴り、有意味語、日常記憶と3種類の記憶に関する実験を行い、それぞれの特徴について学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	記憶のプロセス、想起の仕方を説明できる。	PC PPT 無意味綴り 配布資料 記録用紙	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「記憶②無意味綴り」無意味綴りを用いて、実験を行う。		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	系列位置効果を説明できる。	PC PPT 無意味綴り 配布資料 記録用紙	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「記憶③無意味綴り」無意味綴りを用いて、実験を行う。データを収集し、グラフを作成する。		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験条件を理解する。	PC PPT 有意味語 配布資料 記録用紙	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「記憶④有意味語」有意味語を用いた記憶課題を行う。		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	記憶課題の内容による記銘と想起の違いを理解する。	PC PPT 有意味語 配布資料 記録用紙	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「記憶⑤有意味語」有意味語を用いた記憶課題を行い、想起の無意味綴りとの違いについて考察する。		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	日常記憶の特徴について理解する。	配布資料 記録用紙	心理学検定対策テキストから「記憶」に関連する項目を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「記憶⑥日常記憶」実験的記憶と比較し、日常記憶の特徴、想起について学ぶ。		
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	実験的記憶と日常記憶の相違点と、生活への影響について理解する。	PC 配布資料 記録用紙	全てのデータを入力しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「記憶⑦」エクセルシートにデータを入力、グラフを作成し、レポートを書く。		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	プライミング現象を説明できる。	PC 配布資料	資料を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「プライミング①」実験内容、実験条件を説明、練習試行の実施。		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	正しい教示ができる。	PC 配布資料	教示の熟読。
		各コマにおける授業予定	「プライミング②」本実験の実施。		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	エクセルでデータを整理できる。	PC 配布資料	配布資料を通読する。
		各コマにおける授業予定	「プライミング③」結果の整理。		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	プライミング現象の特徴を説明できる。	PC 配布資料	結果の整理と考察のポイントを読む。
		各コマにおける授業予定	「プライミング④」考察。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	神経心理学的検査の特徴を理解する。	PC 配布資料 課題	実験手続きを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「神経心理学的検査①」線二分テスト、利き手テスト、文字流暢性テスト、ストループテストを行い、脳機能の特徴について理解する。		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	教示ができる。	PC 配布資料 課題	教示と記録方法について熟読する。
		各コマにおける授業予定	「神経心理学的検査②」検査者役と被検者役になり、本実験の実施。		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳機能の局在性を説明できる。	PC 配布資料	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「神経心理学的検査③」結果をまとめ、レポートを作成する、		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	心身相関現象を説明できる。	PPT 配布資料 唾液アミラーゼモニター	参考図書の中から、ストレスとストレス反応に関する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「ストレスの測定①」唾液アミラーゼモニターを使い、ストレス反応を調べるための実験条件や実験方法を考える。		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	ストレス反応について説明できる。	PPT 配布資料 唾液アミラーゼモニター	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「ストレスの測定②」実験を行い、レポートにまとめる。また、唾液アミラーゼ以外のストレス評価について考察する。		
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	SD法を説明できる。	PPT 配布資料 SD法用紙	実施方法、教示を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「SD法①」SD法を実施し、手順や分析方法、イメージの捉え方について、体験的に学ぶ。		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	グラフを作成することができる。	PPT 配布資料 SD法用紙 PC	参考図書の中からアンケート調査に関連する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「SD法②」結果を整理し、グラフを作成する。		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	SD法による調査用紙を作ることができる。	PPT 配布資料 SD法用紙 PC	考察のポイントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「SD法③」結果をもとに、レポートを作成する。		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	構成概念とは何か、理解する。	PPT 配布資料 PC	心理的構成概念について調べておく。
		各コマにおける授業予定	「SD法④」各自、何らかのイメージ調査用紙を作成する。		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	類型論と特性論を説明できる。	PPT 配布資料 INV FFFPQ パーソナリティテスト	参考図書の中から、関連する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「質問紙法①」類型論と特性論に基づく質問紙法による心理検査を体験し、集計と結果の解釈を体験的に学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	信頼性と妥当性を説明できる。	PPT 配布資料 INV FFFPQ パーソナリティテスト PC	各心理検査の解説を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「質問紙法②」結果をもとにレポートを作成する。		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	質問紙法と投影法の違いを説明できる。	PPT 配布資料 P-Fスタディ 風景構成法	参考図書の中から、関連する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「投影法①」バウムテストとP-Fスタディを体験する。結果の集計と解釈の方法を体験的に学ぶ。投影法実施時における、検査者の関与しながらの観察を体験的に学ぶ。		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	スコアリングの仕方を理解する。	PPT 配布資料 P-Fスタディ 風景構成法	スコアリングの方法、解釈の内容を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「投影法②」スコアリングを学ぶ。		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	解釈の難しさを理解する。	PPT 配布資料 P-Fスタディ 風景構成法	スコアリングの方法、解釈の内容を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「投影法③」結果を解釈し、レポートを作成する。		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	心理学的構成概念について理解する。	配布資料 PC	参考図書の中から、関連する箇所を読む。
		各コマにおける授業予定	「レポートを作ろう①」アンケートの作り方を学ぶ。		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標		配布資料 PC	配布資料「アンケートの作り方」を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「レポートを作ろう②」どのようなアンケートを作るのか、課題や構成概念を調査する。		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	回答方法のバリエーションを理解する。	配布資料 PC	配布資料「アンケートの作り方」を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「レポートを作ろう③」回答方法を検討し、アンケートを作成する。		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	実際にアンケートを行う際の留意点に気づく。	配布資料 PC	配布資料「アンケートの作り方」を熟読する。
		各コマにおける授業予定	「レポートを作ろう④」お互いに、アンケートを取り合い、フィードバックする。		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	全てのレポートの完成。	配布資料 PC	未完成のレポートの資料を読む。
		各コマにおける授業予定	予備「レポート作成」レポート完成を目指す。		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	心理実験の意義を理解する。	配布資料 PC	レポート作成を継続する。
		各コマにおける授業予定	予備「振り返りとまとめ」授業の総括。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 46 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 47 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 48 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 49 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 50 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 51 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 52 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 53 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 54 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第 55 回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			